

共通科目

(博士後期課程)

科目名	健康行動科学特論	code number : HBS 301	必修	2 単位
-----	----------	--------------------------	----	------

科目責任者	石川 ひろの 教授						
配当年次	1年次	配当学期	前期	曜日・時限	水曜 3時限	授業方法	講義

## 1. 授業の概要

公衆衛生分野において、行動科学的な分析の視点がどのように応用され、健康や医療に関連した人間の行動や心理、対人関係やコミュニケーションに関して、どのような知見が蓄積されているかを概説する。その上で、さまざまな行動科学の概念が健康や健康関連行動の評価にどのように役立つか議論し、行動科学理論に基づいた生活習慣の変容、健康増進活動などを導くための基本知識を学習する。また、心理社会的ストレス、社会文化的環境が健康や行動に及ぼす影響について理解できるようにする。さらに社会行動学的な見地に立って、様々な公衆衛生学問題に対して解決策を提示し、具体的に問題解決ができる人材の養成を目指す。

## 2. 授業の到達目標

## 【一般目標(GIO)】

1. 公衆衛生分野における人間の行動や心理、対人関係やコミュニケーションに対する社会行動科学的なアプローチを学ぶ。

## 【行動目標(SBO)】

1. 主な健康行動理論や概念について、具体例を挙げながら説明できる。
2. ライフサイクルにおける健康課題とその多様性を理解し、それを取り巻く社会文化的環境の重要性を説明できる。
3. 健康、病気に関する人間の行動に影響を与える心理社会的、文化的な要因について説明できる。
4. 集団の中での人間関係や行動(社会的影響、コミュニケーションネットワーク、リーダーシップなど)を概説できる。
5. 保健医療分野における様々なレベルのコミュニケーションとその重要性を説明できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- (1) 課題レポート (40%)
  - (2) プレゼンテーション (40%)
  - (3) 講義での発言や議論 (20%)
- 注意) 課題、レポートを再提出または期限内に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。

## 4. 教科書・テキスト

各講義で事前の資料等を配布する。

## 5. 参考書

- ・日本行動医学会(編). 行動医学テキスト. 中外医学社. 2015年
- ・石川ひろの(著). 保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門. 大修館書店. 2020年
- ・日本健康教育学会(編). 健康行動理論による研究と実践. 医学書院. 2019年
- ・福田洋、江口泰正(編). ヘルスリテラシー :健康教育の新しいキーワード. 大修館書店. 2016年

## 6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・行動医学、行動科学、社会心理学等についてまったく予備知識のない者は、自分に合った健康行動科学関連の書籍(上記の参考書など)を事前に1通り読んでおくことが望ましい。
- ・各回の授業内容で分からない専門用語があれば、次回までにその意味等を復習して理解しておくこと。
- ・当該期間に30時間以上の予復習が必要。

## 7. その他履修上の注意事項

- ・グループワークやプレゼンテーションに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・グループディスカッションやICTを利用した双方向性、参加型の授業を行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

## &lt;授業計画&gt;

## 健康行動科学特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	4/15(水)	3	石川ひろの 教授	健康行動科学とは 健康の概念、行動科学の歴史、健康行動、予防、ヘルスプロモーション
2	4/22(水)	3	石川ひろの 教授	健康行動科学の調査と研究方法 概念的枠組み、尺度・質問紙の作成、信頼性、妥当性
3	5/13(水)	3	石川ひろの 教授	行動の学習 学習理論、条件付け、社会的学習、動機付け
4	5/20(水)	3	石川ひろの 教授	態度・行動の決定とその変化 認知的不協和、説得的コミュニケーション、援助、攻撃
5	5/27(水)	3	石川ひろの 教授	ライフサイクルと健康 発達課題、健康問題、ジェンダー
6	6/3(水)	3	石川ひろの 教授	他者との関係:対人認知と葛藤 自己評価、対人認知、印象形成、対人葛藤、認知バイアス、社会的役割
7	6/10(水)	3	石川ひろの 教授	医療・公衆衛生におけるチーム 集団、チームワーク、チームエラー、集団での課題遂行、リーダーシップ、多職種連携
8	6/17(水)	3	中尾 睦宏 教授(客)	ストレス(心理) ストレッサー、ストレス反応、心理学的ストレスモデル、認知的評価、コーピング、ライフイベント、リラクゼーション法
9	6/17(水)	4	中尾 睦宏 教授(客)	ストレス(環境)と健康 職場のストレス、その他のストレス(子供のストレス、育児ストレスなど)、ストレス対策、ソーシャルサポート
10	7/1(水)	3	石川ひろの 教授	健康行動と健康教育 健康・病気行動、健康信念モデル、計画的行動理論、変化のステージモデル、ソーシャルマーケティング
11	7/1(水)	4	石川ひろの 教授	グループワーク
12	7/22(水)	3	福田 吉治 教授	社会疫学入門 社会階層・SES、健康格差、ソーシャルキャピタル、行動経済学
13	7/22(水)	4	石川ひろの 教授	ヘルスコミュニケーション入門 健康医療情報のコミュニケーション、情報収集行動、ヘルスリテラシー、cultural competence
14	8/5(水)	3	石川ひろの 教授	グループプレゼンテーション
15	8/5(水)	4	石川ひろの 教授	グループプレゼンテーション